

## 新講師が初めての出前授業 出身地・大阪でパラ陸上競技の元日本代表・花岡伸和講師が 「あすチャレ！スクール」車いす陸上プログラムを八尾市の中学校で実施

公益財団法人日本財団パラスポーツサポートセンター（所在地：東京都港区、会長：山脇康、以下「パラサポ」）がパラアスリートを講師に2016年から国内外の小・中・高・特別支援学校などで10年にわたって開催し、33万人以上が参加している文部科学省後援プログラム「あすチャレ！スクール」車いす陸上プログラムにおいて、9月16日、花岡伸和講師が大阪府八尾市の中学校で初めての授業を行いました。



パラ陸上競技の競技用車いす（レーサー）で先生と対決することになった生徒に漕ぎ方を教える花岡講師



「車いす生活で困ったことはなんですか」など生徒からのさまざまな質問にも率直に答えた

今回の中学校は、通常の学級で行う特別支援教育の一環として「あすチャレ！スクール」に申し込み、前日には、ミラノ・コルティナ2026パラリンピック冬季競技大会のアスリートの活躍などを振り返りながら「どうやって工夫したら、できるようになるか」を生徒自身が考える授業を実施したとのこと。参加した男子生徒は、「自分の未来は自分でつくる」をテーマにした花岡講師の講話を聞いて「水泳をやっているので、困っていることを別の角度から乗り越えたいと思います」と話していました。

### 講師プロフィール

**花岡 伸和（はなおか のぶかず）**  
出身地：大阪府

17歳のときのバイク事故により、車いす生活となる。受傷から1年でマラソンを始め、2004年アテネ、2012年ロンドンのパラリンピック2大会に出場。2012年ロンドンパラリンピックを機にパラ陸上競技を引退。その後パラ自転車競技にも挑戦。現在は、競技解説者、コーチ（スポーツ科学修士）、競技団体役員など、「支えるスポーツ」を実践しながら、学校講演、大学非常勤教員など教育活動にも力を入れている。座右の銘は「志あれば道あり」。

#### 【主な競技実績】

##### <パラ陸上競技>

2004年 アテネ2004パラリンピック 男子マラソン(T54) 6位

2010年 広州2010アジアパラ競技大会 男子1500m(T54) 銅メダル

2012年 ロンドン2012パラリンピック 男子マラソン(T54) 5位

##### <パラ自転車競技>

2015年 日本パラサイクリング選手権・ロード大会 男子個人タイムトライアル(H3-4) 優勝



## 「あすチャレ！スクール」の講師として活動する想い



「自分の未来は、自分自身がつくる」。

勝ち負けよりも、今の自分にできることに全力を尽くすことが、なりたい自分への一番の近道だと私は考えています。その一歩を踏み出す勇氣と楽しさを、これから講師として子どもたちに届けていきたいです。

パラスポーツ体験型授業「あすチャレ！スクール」 <https://www.parasapo.tokyo/asuchalle/school/>

「あすチャレ！スクール」は、文部科学省が後援するプログラムで、小・中・高・特別支援学校向けのパラアスリートから学ぶパラスポーツ体験型出前授業です。① デモンストレーション、② パラスポーツ体験、③ 講話の3部から構成される90分間のプログラムで、パラスポーツを通じて児童生徒たちに共生社会への気づきや学びの機会を提供しています。

車いすバスケットボール、車いす陸上、ゴールボールの3つのプログラムがあり、2016年4月に開始してから2026年3月末までに、国内外で3,075回開催、33万人以上の児童生徒が参加しています。



「あすチャレ！」について <https://www.parasapo.tokyo/asuchalle/outline/>

日本財団パラスポーツサポートセンター（パラサポ）は、「SOCIAL CHANGE with SPORTS」をスローガンに、誰もが活躍できるDEI社会の実現を目指し、パラアスリートら講師による小・中・高・特別支援学校向けの教育プログラムと企業・団体・自治体・大学向けの研修プログラム、計5つの「あすチャレ！」を2016年4月から国内外で開催しており、2026年4月に10周年を迎えました。2025年度末までの10年間で、累計開催回数は6,470回、参加人数は66万人を超えています。



2026年度は、株式会社JTB、株式会社MIXI、中外製薬株式会社のパートナー3社の皆さんと協力しながら、全国で年間700回以上の開催を目指します。

日本財団パラスポーツサポートセンターについて <https://www.parasapo.or.jp/>

日本財団の支援を受け2015年5月に活動を開始したパラサポは、運営基盤に課題があったパラリンピック競技団体の持続可能な運営体制構築のため、2015年11月、競技団体・関係団体との共同オフィスをオープン。安定した団体運営に欠かせない助成金をはじめ、効率的な団体運営を推進する「シェアードサービス」の提供により基盤強化に取り組んでいます。

2018年6月には、「日本財団パラアリーナ」をオープン、これまでに延べ8.3万人を超えるパラアスリートが活用しています。

2024年4月には、運動会にインクルーシブな種目を導入して、インクルーシブ教育推進の機会を提供する「パラサポ！インクルーシブ運動会」をスタートしました。

<本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先>

パラサポPR事務局（株）アンティル 担当：石井・鋤崎

TEL:03-6821-7863 / FAX:03-4335-8385 / MAIL:parasapo@vectorinc.co.jp